

GARMIN®

GPSMAP® 9500

インストールガイド

安全に関する警告と注意事項

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

このデバイスを以下の手順に従って設置しない場合、怪我を負ったり、船舶やデバイスが破損したり、製品の性能が低下したりするおそれがあります。

⚠ 注意

目や耳の保護、または粉塵による被害等を防止するため、掘削や切断、研磨作業等を行う際には、常に安全メガネや防音用の耳栓、防塵マスクを着用してください。

怪我またはデバイスや船舶の破損を防ぐため、船舶の電源を切ってからデバイスを取り付けてください。

怪我またはデバイスや船舶の破損を防ぐため、ガイドの指示に従ってデバイスが適切にアースされていることを確認してから電源を供給してください。

怪我や本機および船舶の損傷を防ぐために、本機の実装は、船舶が陸上にある場合か、または船舶が穏やかな水面にあり確実に固定され係留されている場合にのみ実施してください。

注記

船舶の破損を防ぐため、ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

取り付ける前に、インストールガイドをすべてお読みください。取り付け時に問題が発生した場合は、Garmin® 製品サポートにお問い合わせください。

Garmin サポートへのお問い合わせ

- 製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。
- 米国：913-397-8200 または 1-800-800-1020
- 英国：0808 238 0000
- 欧州：+44 (0) 870 850 1241

ソフトウェア更新

インストール後に、チャートプロッターソフトウェアの更新が必要となる場合があります。ソフトウェアの更新方法については、garmin.com/manuals/GPSMAP9500 の操作マニュアルを参照してください。

コネクタ外観



①	ステータス LED
POWER	電源ケーブル接続部
NETWORK	Garmin BlueNet™ ネットワークポート (Garmin BlueNet ネットワークに関する考慮事項, 5 ページ)
USB	互換性のある USB-C® カードリーダーを接続する Garmin ¹ 。
HDMI IN 1	60 fps で最大 4K の HDMI® デバイスとの HDMI 入力互換性があります
HDMI IN 2	30 fps で最大 4K の HDMI デバイスとの HDMI 入力互換性があります
HDMI OUT	チャートプロッターをモニターに接続する HDMI 出力。デバイスの機能に必須です。
⏏	電源ケーブルのアース
⏻	電源キー
AUDIO	オーディオ出力
USB DRD	ホストまたはクライアントとして設定できるデュアルロールデータ (DRD) USB-C。
CVBS IN	コンポジットビデオ入力
NMEA 2000	NMEA 2000® ネットワーク
J1939	J1939 ネットワーク

必要な工具

- ・ ドリル
- ・ 表面と金具に適したドリルビット (付属のねじの場合、3.2 mm (1/8 インチ) ドリルビット)
- ・ プラスドライバー
- ・ 鉛筆

¹ 外部カードリーダーをこのポートに接続する場合は、アダプタケーブル (010-12390-13) が必要になることがあります。

取り付けに関する注意事項

注記

このデバイスは、過酷な温度環境や状況にさらされない場所に取り付ける必要があります。このデバイスの温度範囲は、製品の仕様に記載されています。保管の場合でも、稼動状況であっても、仕様で定められた適切な温度の範囲を外れて、過酷な温度に長時間さらされている場合、デバイスが故障する可能性があります。過酷な温度で生じた損害や派生的な結果については、保証の対象外になります。

- デバイスは、水没しない場所に取り付ける必要があります。
- デバイスは、適度な通気性があり、熱をため込まない場所に取り付ける必要があります。
- デバイスは、ケーブルやその他干渉源となる可能性のあるものから 2.54 cm (1 in.) 以上離して取り付ける必要があります。
- デバイスは、すべてのケーブルを配線して接続するスペースを確保できる場所に取り付ける必要があります。

GPSMAP 9500 Black Box 装置の取り付け

注記

デバイスをグラスファイバーに取り付ける場合は、パイロットホールをドリルで開けるときに、カウンターシンク形のドリルで、最上部のジェルコーティング層のみにカウンターボア (ナットの頭を収める空間) を開けてください。このように処理することで、ねじを締めるときにジェルコーティング層のひび割れを防ぐことができます。

注：ねじはデバイスに同梱されていますが、取り付け面に適していない可能性があります。

デバイスを取り付ける前に、取り付け位置を選択し、取り付け面に適したねじと取り付け部品を決定します。

- 1 Black Box デバイスを取り付け位置に設置し、パイロット穴の位置に印を付けます。
- 2 デバイスのいずれか 1 つの隅の位置にドリルでパイロット穴を開けます。
- 3 対応するデバイスの隅を取り付け位置に仮止めし、残り 3 つのパイロット穴の印を確認します。
- 4 必要に応じて、パイロット穴の位置を付け直し、取り付け面からデバイスを外します。
- 5 残りのパイロット穴を開けます。
- 6 取り付け位置にデバイスをしっかりと取り付けます。

接続に関する注意事項

このデバイスを電源およびその他の Garmin デバイスに接続する場合は、次の注意事項に従ってください。

- 電源とアース端子をバッテリーに接続する際には、しっかりと固定されていて、外れないことを確認する必要があります。
- ケーブルはロックリングを装着していない状態で梱包されている場合があります。中ナットを取り付ける前にケーブルを接続する必要があります。
- ケーブルに中ナットを取り付けた後、このナットおよび O リングがしっかりと取り付けられていて、他の電源やデータケーブルが固定されていることを確認します。

電源を接続する

⚠ 警告

電源ケーブルを接続するときには、インラインヒューズホルダーを取り外さないでください。火事や過熱による怪我や製品損傷の可能性がありますので、製品仕様で指定されている適切なヒューズを必ず取り付けてください。適切なヒューズを取り付けずに電源ケーブルを接続した場合、製品保証は無効になります。

デバイスのオン / オフを切り替えるには、イグニッションまたは別の手動スイッチを介して電源に赤のケーブルを接続する必要があります。

1 電源に電源ケーブルを配線します。

必要に応じて、電源ケーブルを延長できます (電源ケーブルの延長, 4 ページ)。

2 赤色の電源ケーブルをイグニッションまたは別のマニュアルスイッチに接続し、必要に応じてスイッチを正極 (+) バッテリー端子に接続します。

3 黒色のケーブルを負極 (-) バッテリー端子またはアースに接続します。

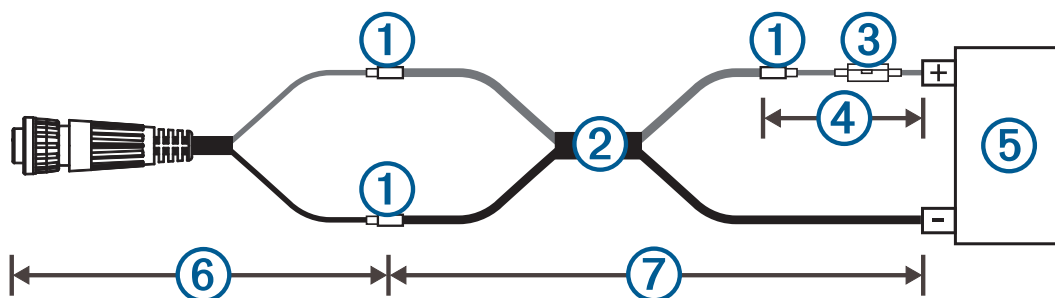
その他のアースに関する注意事項

このデバイスは、ほとんどのインストールの場合において、シャーシによるアースを追加する必要はありません。干渉が発生している場合は、ハウジングのアースねじを使用し、船舶の水



電源ケーブルの延長

延長する距離に応じて適切な電線規格を使用することで、必要に応じて電源ケーブルを延長できます。



①	延長
②	<ul style="list-style-type: none">最大 4.6 m (15 ft.): 10 AWG (5.26 mm²) 延長ケーブル最大 7 m (23 ft.): 8 AWG (8.36 mm²) 延長ケーブル最大 11 m (36 ft.): 6 AWG (13.29 mm²) 延長ケーブル
③	ヒューズ (10 A、42 V 速断型)
④	20.3 cm (8 in.)
⑤	バッテリー
⑥	20.3 cm (8 in.)
⑦	11 m (36 ft.) 最大延長

電源に関する注意事項

電源キーを使用してデバイスのオン / オフを切り替えることはできますが、そのようにするためにデバイスに簡単にアクセスできない可能性があります。スイッチまたは次のいずれかを接続して GPSMAP 9500 デバイスのオン / オフを切り替えることを検討してください。

- GRID™デバイス

注：GRID 20 デバイスでは、GPSMAP 9500 デバイスのオン / オフを切り替えることは**できません**。GRID 20 デバイスの電源キーを使用すると、GPSMAP 9500 デバイスがスリープモードに入ります。

- 別の Garmin チャートプロッター
- GMM™モニタ

GPSMAP 9500 デバイ스에電力が供給されると、デバイスの電源がオンになります。自動電源オン機能を無効にすることはできません。

Garmin BlueNet ネットワークに関する考慮事項

このデバイスは、追加の Garmin デバイスに接続し、Garmin BlueNet テクノロジーを使用してレーダー、ソナー、詳細マッピングなどのデータを共有できます。これらの Garmin BlueNet デバイスとレガシー Garmin Marine Network デバイスの両方を含むネットワークを適切に構築するためのベストプラクティスなど、Garmin BlueNet テクノロジーに関する詳細については、garmin.com/manuals/bluenet を参照してください。

この Garmin BlueNet デバイスとレガシー Garmin Marine Network デバイスを接続する場合は、以下の点に注意してください。

- デバイスの NETWORK ポートは、それぞれ Garmin BlueNet ネットワークスイッチとして機能します。Garmin BlueNet デバイスは NETWORK ポートに接続して、Garmin BlueNet ケーブルで接続されたポート上のすべてのデバイスとデータを共有できます。
- 従来の Garmin Marine Network デバイスをこのデバイスに接続するには、Garmin BlueNet 30 ゲートウェイを設置します。
- この Garmin BlueNet ネットワークに接続されているすべてのデバイスは、同じアースに接続されている必要があります。Garmin BlueNet ネットワークデバイスに複数の電源を使用する場合は、低抵抗接続を使用してすべての電源からのすべての接地接続を一緒に接続するか、または利用可能な場合は共通の接地バスバーに接続する必要があります。
- すべての Garmin BlueNet ネットワーク接続に Garmin BlueNet ネットワークケーブルを使用する必要があります。
 - サードパーティの CAT5 ケーブルや RJ45 コネクタを Garmin BlueNet ネットワーク接続に使用しないでください。
 - 追加の Garmin BlueNet ケーブルとコネクタは、Garmin 販売店または garmin.com から入手できます。

ステーションの接続に関する注意事項

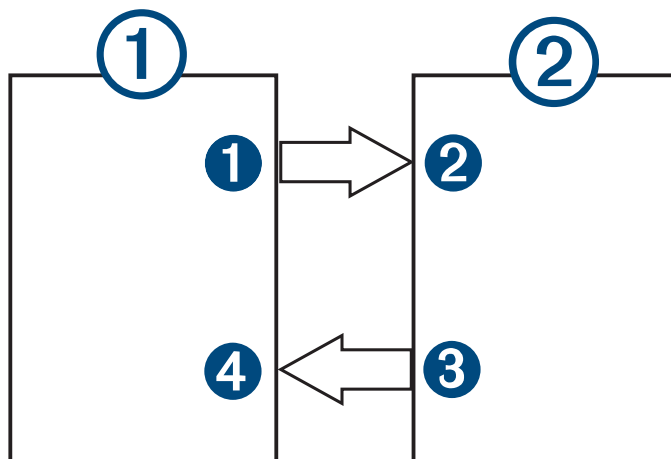
このデバイスは、他の互換 Garmin デバイスと連携するように設定して、ステーションとして統合的に使用できます。ポートでステーションの使用を計画している場合、次の注意事項に従ってください。

- GPSMAP 8000 シリーズおよび GPSMAP 8500 シリーズより前のデバイスはステーションで使用できません。
- 必須ではありませんが、ステーションで使用する予定の全デバイスは互いに近い位置に取り付けることをお勧めします。
- ステーションで使用する予定のすべてのデバイスが Garmin BlueNet、ネットワーク ([Garmin BlueNet ネットワークに関する考慮事項, 5 ページ](#)) に接続されている必要があります。追加の特別な接続は必要ありません。
- ステーションの構築と変更は、デバイスソフトウェアを使用して行います。詳しくはデバイスのマニュアルを参照してください。

サードパーティ製タッチスクリーンの接続に関する注意事項

サードパーティ製タッチスクリーンを接続して GPSMAP 9500 デバイスを表示および制御する場合は、次の注意事項に従ってください。

- ビデオデータは、HDMI 接続を使用して送信されます。
- タッチデータは、USB 接続を使用して送信されます。



デバイス

アイテム	デバイス
①	GPSMAP チャートプロッター
②	サードパーティ製タッチスクリーンモニタ

接続

始点	終点	ケーブル
① チャートプロッターの HDMI OUT ポート	② モニタの HDMI IN ポート	Garmin HDMI ケーブル (010-12390-20)
③ モニタの USB ポート	④ チャートプロッターの USB ポー ト	Garmin USB-C - USB-A アダプタケーブル (010-12390-12)

注：モニタがタッチスクリーンでない場合は、チャートプロッターを操作できるように、GRID リモート入力デバイスまたは GRID 20 リモート入力デバイスを取り付ける必要があります。

NMEA 2000 に関する注意事項

注記

既存の NMEA 2000 ネットワークに接続している場合は、NMEA 2000 電源ケーブルを識別します。NMEA 2000 ネットワークで正常に動作させるには、NMEA 2000 電源ケーブルは 1 本のみ必要です。

既存の NMEA 2000 ネットワークのメーカーが不明な施設では、NMEA 2000 Power Isolator (010-11580-00) を使用してください。

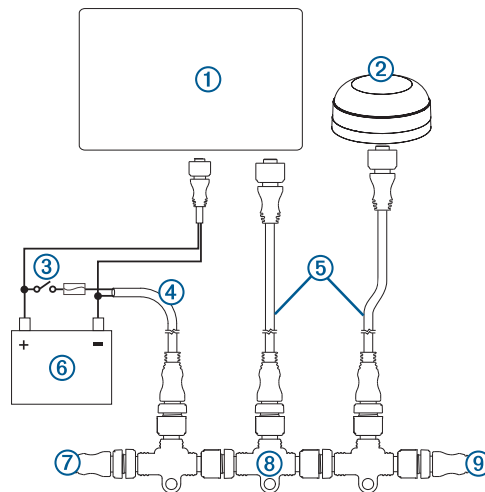
NMEA 2000 電源ケーブルを取り付ける場合は、そのケーブルをボートのイグニションスイッチまたは別のインラインスイッチに接続する必要があります。NMEA 2000 電源ケーブルがバッテリーに直接接続されている場合、NMEA 2000 デバイスによりバッテリーの電力が消費されます。

このデバイスはボート上の NMEA 2000 ネットワークに接続して、GPS アンテナや VHF ラジオなど、NMEA 2000 互換デバイスとデータを共有できます。付属の NMEA 2000 ケーブルとコネクタを使用すると、デバイスを既存の NMEA 2000 ネットワークに接続できます。既存の NMEA 2000 ネットワークが無い場合は、Garmin 製ケーブルを使用して基本的なネットワークを構築できます。

このデバイスは NMEA 2000 ネットワーク経由で電源が供給されていません。デバイスを電源に接続する必要があります (電源を接続する, 4 ページ)。

NMEA 2000 に慣れていない場合は、garmin.com/manuals/nmea_2000 にある NMEA 2000 製品のテクニカルリファレンスをお読みください。

デバイスを標準的な NMEA 2000 ネットワークに接続するために、NMEA 2000 のラベルが付いたポートを使用します。



アイテム	説明
①	NMEA 2000 互換 Garmin デバイス
②	GPS アンテナ
③	イグニッションまたはインラインスイッチ
④	NMEA 2000 電源ケーブル
⑤	NMEA 2000 ドロップケーブル
⑥	DC 12 V 電源
⑦	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル
⑧	NMEA 2000 T コネクタ
⑨	NMEA 2000 ターミネーターまたはバックボーンケーブル

リモート入力デバイスの接続と制御

チャートプロッターをタッチスクリーンモニタに接続しない場合は、GRID 20 リモート入力デバイス (別売) を取り付けてチャートプロッターを操作、制御できます。

リモート入力デバイスに付属の取り付け手順に従って船舶に取り付け、チャートプロッターと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続する必要があります。リモート入力デバイスを接続したら、チャートプロッターとペアリングする手順を実行する必要があります。

GRID 20 デバイスとチャートプロッターのペアリング

- 1 チャートプロッターと同じ NMEA 2000 ネットワークに接続されている GRID 20 デバイスで、デバイスのビープ音が鳴るまで◀と▶を押し続けます。
ネットワーク上のすべてのチャートプロッターで、GRID™ペアリングページが開きます。
- 2 GRID 20 デバイスで制御するチャートプロッターで追加が強調表示されるまで、GRID 20 デバイスで◀または▶を繰り返し押します。
- 3 ノブを押して確定します。

J1939 エンジンネットワーク接続に関する注意事項

注記

チャートプロッターを J1939 エンジンネットワークに接続するときには、水分による腐食を防止するため、Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルを使用する必要があります。別のケーブルを使用した場合、保証が無効になります。

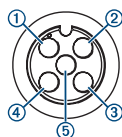
ポートに既存のエンジンネットワークがある場合、既にそのシステムは電源に接続されている必要があります。他の電源は追加しないでください。

このチャートプロッターをポート上のエンジンネットワークに接続すると、特定のエンジンなどの互換デバイスからデータを読み込むことができます。エンジンネットワークは、規格に従い、専用のメッセージを使用します。

チャートプロッターを接続する場合は、エンジンまたはエンジンネットワークのメーカーにお問い合わせください。メーカーによっては、予期しない動作を回避するために接続するときに従う必要がある要件がある場合があります。

デバイスを既存のエンジンネットワークに接続するには、J1939 のラベルが付いたポートを使用します。ケーブルは、エンジンネットワークバックボーンの 6 m (20 ft.) 以内に配線する必要があります。

Garmin GPSMAP J1939 付属ケーブルは、電源と適切な終端に接続する必要があります。エンジンネットワークへの接続方法について詳しくは、メーカーのエンジンの説明書等を参照してください。



ピン	ケーブルの色	説明
①	裸線	シールド
②	赤	電源、正
③	黒	電源、負
④	白	CAN 高
⑤	青	CAN 低

HDMI ビデオに関する注意事項

注記

水分による腐食を防止するために、チャートプロッターは Garmin GPSMAP 付属ケーブルを使用してビデオソースまたはディスプレイに接続する必要があります。メディアプレーヤースティックをチャートプロッターの背面に直接接続しないでください。別のケーブルを使用したり、メディアプレーヤースティックをチャートプロッターの背面に接続したりした場合、保証が無効になります。

HDMI OUT ポートを使うと、テレビやモニタなどの画面にビデオを表示できます。

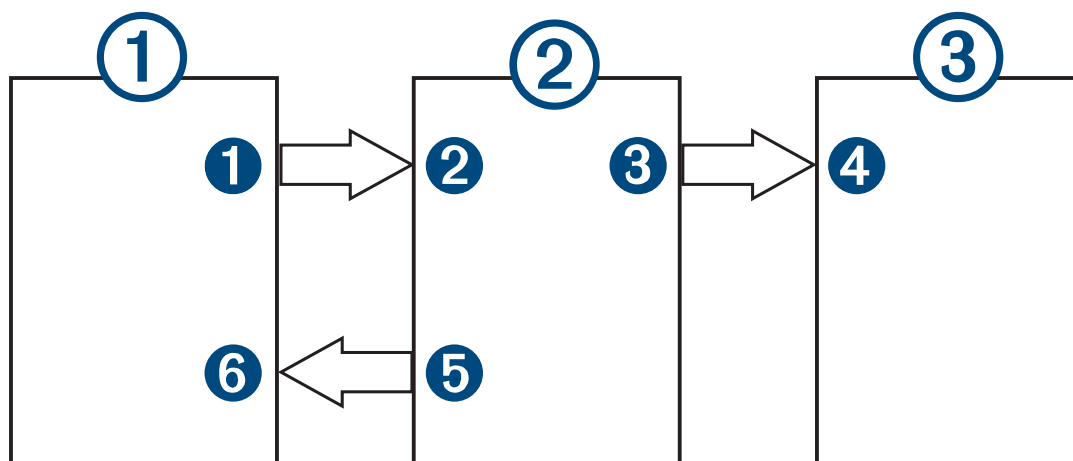
GPSMAP 9500 チャートプロッターは、Chromecast™デバイスや Blu-Ray™プレーヤーなどの HDMI ビデオソースからのビデオ入力が可能で、HDMI OUT ポートに接続されたモニタでビデオを表示できます。保護された HDMI コンテンツ (HDCP コンテンツ) は、業界の HDCP 規格をサポートする外部モニタで表示できますが、Garmin BlueNet ネットワークおよび Garmin Marine Network 上の追加のデバイスでそのコンテンツを表示する方法には制限があります。

HDMI ビデオは Garmin BlueNet ネットワークおよび Garmin Marine Network 上で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。HDCP コンテンツは、Garmin ネットワークを介して GPSMAP 8000 シリーズ以前のチャートプロッターと共有できません。HDCP コンテンツは、GPSMAP 9000 シリーズチャートプロッターにより、GPSMAP ネットワークに接続されている他の Garmin BlueNet 9000 シリーズチャートプロッターにのみ共有できます。

Garmin GPSMAP HDMI 付属ケーブルの長さは 4.5 m (15 ft) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ずアクティブ HDMI ケーブルを使用してください。2 本の HDMI ケーブルを接続するには、HDMI カプラーが必要です。

アダプタケーブルを使用して、チャートプロッターの USB ポートを使用してメディアプレーヤースティックに電力を供給できます。GPSMAP 8000 シリーズチャートプロッターの USB ポートと GPSMAP 9000 シリーズチャートプロッターの USB DRD ポートは、メディアプレーヤースティックに最大 2.5 W の電力を供給できます。GPSMAP 9000 シリーズチャートプロッターの USB ポートから、最大 4.5 W の電力をメディアプレーヤースティックに供給できます。

すべてのケーブル接続は、水気のない所で行う必要があります。



デバイス

アイテム	デバイス
①	Chromecast デバイスなどの HDMI ソース
②	GPSMAP チャートプロッター
③	コンピュータやテレビなどのモニタ

接続

始点	終点	ケーブル
① HDMI ソースの HDMI OUT ポート	② チャートプロッターの HDMI IN 1/HDMI 2 ポート	Garmin HDMI ケーブル
③ チャートプロッターの HDMI OUT ポート	④ モニタの HDMI IN ポート	Garmin HDMI ケーブル
⑤ チャートプロッターの USB DRD または USB ポート	⑥ HDMI ソースの USB ポート	HDMI ソースに電源を供給するアダプタケーブル (可能な場合) (チャートプロッターのモデルと USB ポートにより、最大 2.5 W または 4.5 W)

コンポジットビデオに関する注意事項

この海図プロッターでは、CVBS IN というラベルの付いたポートを使用してコンポジットビデオソースからビデオ入力できます。コンポジットビデオを接続するときは、次の注意事項に従ってください。

- CVBS IN ポートでは、BNC コネクタを使用します。CVBS IN ポートとコンポジットビデオソースの接続に RCA コネクタを使用するには、BNC - RCA アダプタが必要です。
- ビデオは Garmin Marine Network で共有されますが、NMEA 2000 ネットワークでは共有されません。

接続されているコンピュータのタッチスクリーンコントロール

注記

水気による腐食を防止するためには、Garmin GPSMAP 付属ケーブルを使用してチャートプロッターをコンピュータに接続する必要があります。別のケーブルを使用した場合、保証が無効になります。

チャートプロッターをコンピュータに接続すると、コンピュータ画面を表示したり、タッチスクリーンを使ってコンピュータをコントロールできます。コンピュータの画面を表示するには、コンピュータを HDMI IN 1/HDMI 2 ポートに接続し、タッチスクリーンを HDMI OUT ポートに接続する必要があります。チャートプロッターのタッチスクリーンを使用してコンピュータを制御するには、コンピュータを USB DRD ポートに接続し、タッチスクリーンを USB ポートに接続する必要があります。

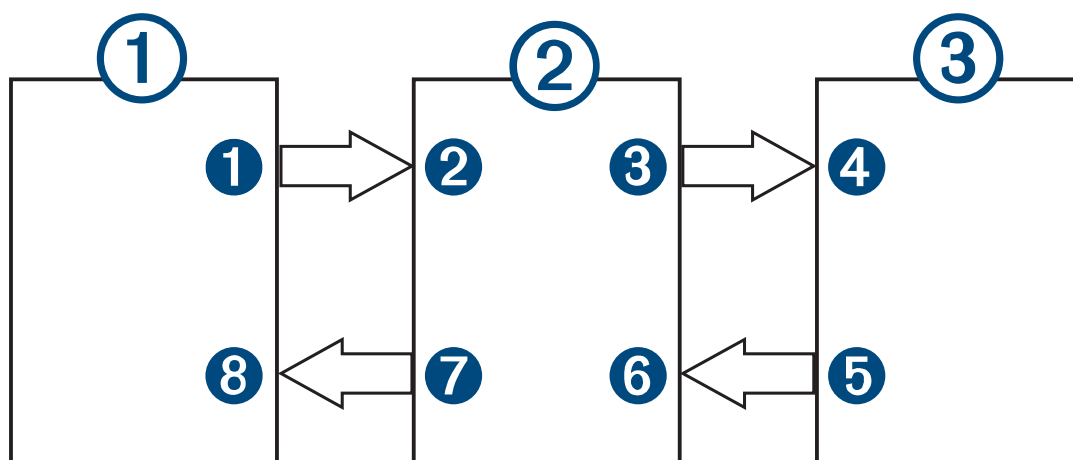
HDMI ケーブル (010-12390-20) の長さは 4.5 m (15 ft) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ずアクティブ HDMI ケーブルを使用してください。2 本の HDMI ケーブルを接続するには、HDMI カプラーが必要です。

推奨の GarminUSB ケーブル (010-12390-14) の長さは 4.5 m (15 ft) です。より長いケーブルが必要な場合は、必ず USB ハブまたは USB リピーター延長ケーブルを使用してください。

注記

通信エラーを回避するには、チャートプロッターに適した USB ケーブルを使用する必要があります。古いほうのケーブルには、USB コネクタのタイプを変換するアダプタは使用しないでください。

すべてのケーブル接続は、水気のない所で行う必要があります。



デバイス

アイテム	デバイス
①	コンピュータ
②	GPSMAP チャートプロッター
③	タッチスクリーンモニタ

接続

始点	終点	ケーブル
① コンピュータの HDMI OUT ポート	② チャートプロッターの HDMI IN 1/ HDMI 2 ポート	Garmin HDMI ケーブル (010-12390-20)
③ チャートプロッターの HDMI OUT ポート	④ モニタの HDMI IN ポート	Garmin HDMI ケーブル (010-12390-20)
⑤ モニタの USB ポート	⑥ チャートプロッターの USB ポート	Garmin USB-C - USB-A ケーブル (010-12390-12)
⑦ チャートプロッターの USB DRD ポート	⑧ コンピュータの USB ポート	Garmin USB-C - USB-A ケーブル (010-12390-14)

の仕様

寸法 (幅×高さ×奥行き)	38.3 × 19.8 × 5.3 cm (15 ¹ / ₈ × 7 ¹³ / ₁₆ × 2 ³ / ₃₂ in.)
デバイス前面のクリアランス	8.6 cm (3 ³ / ₈ in.)
重量	1.58 kg (3.49 lb.)
コンパス安全距離	2.54 cm (1 in.)
温度範囲	-15° ~ 55°C (5° ~ 131°F)
材質	ポリカーボネートプラスチックおよびダイキャストアルミニウム製
防水等級	IEC 60529 IPX7 ²
ヒューズ	4 A、42 V 即断型
入力電圧	DC 10 ~ 32 V
最大消費電力 (DC 10 V 時)	25 W
消費電流 (代表値、DC 12 V 時)	19.1 W
最大消費電流 (DC 12 V 時)	2.08 A
NMEA 2000LEN @ DC 9 V	2
NMEA 2000 消費電流	最大 75 mA
HTML 統合	OneHelm™統合に対応
メモリーカード	外部カードリーダー (別売) が必要
無線周波数	最大 2.4 GHz (16.6 dBm 時)

² このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

NMEA 2000 PGN 情報

送受信

PGN	説明
059392	ISO 承認
059904	ISO の要件
060160	ISO トランスポートプロトコル：データ転送
060416	ISO トランスポートプロトコル：接続管理
060928	ISO アドレス要求
126208	要求グループ機能
126993	ハートビート
126996	製品情報
126998	設定情報
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127250	船体の船首方位
127258	磁気の偏差
127488	エンジンパラメータ：高速更新
127489	エンジンパラメータ：ダイナミック
127493	転送パラメータ：ダイナミック
127505	液量
127508	バッテリーの状態
128259	速度：水の抵抗を考慮
128267	水深
129025	位置：高速更新
129026	COG および SOG：高速更新
129029	GNSS 位置データ
129283	クロストラックエラー
129284	ナビゲーションデータ
129285	ナビゲーション - ルート / ウェイポイント情報
129539	GNSS DOP
129540	視角内の GNSS 衛星
130060	ラベル
130306	風データ
130310	環境パラメータ (廃止)

PGN	説明
130312	温度 (廃止)

送信

PGN	説明
126464	送受信 PGN リストグループ機能
126984	アラート応答
127258	磁気変動
127497	トリップパラメータ : エンジン
127502	スイッチバンクコントロール (非推奨)

受信

PGN	説明
065030	ジェネレーター平均基本 AC 量 (GAAC)
065240	指定されたアドレス
126983	アラーム
126985	アラートテキスト
126987	アラートの閾値
126988	アラート値
126992	システムの時刻
127233	落水
127237	船首方向 / 航路制御
127245	ラダー
127251	回頭速度
127252	ヒープ
127257	姿勢
127498	エンジンのパラメータ : スタティック
127501	スイッチバンクステータス
127503	AC 入カステータス (廃止)
127504	AC 出カステータス (廃止)
127506	DC 詳細ステータス
127507	充電器ステータス
127509	インバータステータス
128000	船舶リーウェイ角
128275	距離ログ

PGN	説明
128780	リニアアクチュエーター
129038	AIS クラス A 位置レポート
129039	AIS クラス B 位置レポート
129040	AIS クラス B 拡張位置レポート
129041	AIS ナビゲーションエイド (ATON) レポート
129044	基準面
129285	ナビゲーション：ルート、ウェイポイント情報
129794	AIS クラス A 静的な航海関連データ
129798	AIS SAR 航空機位置レポート
129799	無線周波数 / モード / 電源
129802	AIS 安全関連ブロードキャストメッセージ
129808	DSC コール情報
129809	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート A
129810	AIS クラス B "CS" 静的データレポート、パート B
130067	ルートとウェイポイントサービス：ルートとウェイポイントの名前と位置
130311	環境パラメータ (廃止)
130313	湿度
130314	実際の圧力
130316	温度：拡張範囲
130569	エンターテインメント：現在のファイルとステータス
130570	エンターテインメント：ライブラリデータファイル
130571	エンターテインメント：ライブラリデータグループ
130573	エンターテインメント：対応ソースデータ
130574	エンターテインメント：対応ゾーンデータ
130576	トリムタブステータス
130577	方向データ

J1939 情報

チャートプロッターは J1939 センテンスを受信できます。チャートプロッターは、J1939 ネットワーク上で伝送することはできません。


説明	PGN	SPN
現在の速度でのエンジン負荷割合 (%)	61443	92
エンジン回転数	61444	190
エンジンマニホールドの排気温度 - 右マニホールド	65031	2433
エンジンマニホールドの排気温度 - 左マニホールド	65031	2434
エンジン補助冷却水	65172	
アクティブ診断トラブルコード	65226	
車両距離	65248	
燃料計の水	65279	
エンジン始動待機ランプ	65252	1081
エンジン過回転テスト	65252	2812
エンジンエア遮断コマンドのステータス	65252	2813
エンジンアラーム出力コマンドのステータス	65252	2814
エンジンの総運転時間	65253	247
ナビゲーションベースの車速	65256	517
エンジン燃料温度 1	65262	174
エンジンオイル温度 1	65262	175
エンジン燃料送出圧力	65263	94
エンジンオイル圧力	65263	100
エンジン冷却水圧力	65263	109
エンジン冷却水温度	65263	110
エンジン冷却水レベル	65263	111
エンジン燃費	65266	183
エンジン平均燃費	65266	185
エンジン吸気マニホールド#1 の圧力	65270	102
バッテリー電位 / 電源入力 1	65271	168
トランスミッション油温度	65272	177
トランスミッション油圧	65272	127
燃料レベル	65276	96
エンジンオイルフィルタ差圧	65276	969

ステータス LED

LED の点灯状態	ステータス
赤色に点灯	デバイスが起動しています。
緑色で点滅	デバイスは正常に動作しています。
オレンジで点滅	デバイスのソフトウェアを更新しています。

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

このデバイスのラベルは電子的に添付されています。E ラベルには、FCC または地域のコンプライアンスマークによって提供される識別番号、適用製品およびライセンス情報などの規制情報が記載されている場合があります。すべてのモデルに該当するわけではありません。

- 1  を選択します。
- 2 システムを選択します。
- 3 規制情報を選択します。

© 2024 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、ActiveCaptain®、ANT®、および Fusion®は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。GRID™および OneHelm™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

FLIR®は FLIR Systems, Inc.の登録商標です。HDMI®は HDMI Licensing, LLC の登録商標です。NMEA®、NMEA 2000®、および NMEA 2000 ロゴは、National Marine Electronics Association の登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

M/N: A04438